一般社団法人

自転車駐車場工業会ニュース

安全安心社会の実現の為に、総合的先進システムを取り入れ、
心のこもった自転車駐車場の普及活動を国際的視野で行い、
自転車駐車場工業会の社会的地位の向上を目指します

事務局：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2
TEL 03-3663-6284　FAX 03-3667-9637
URL https://jichuko.net/
E-mail jic3533@jichuko.net

2026年度 第2回DX委員会

◆日　時：2026年9月25日（金）15：30～17：00
◆場　所：サイカパーキング（株）7F会議室 及びオンライン
◆内　容：①自転車駐車場におけるDX化実態調査アンケート（案）
②自転車駐車場におけるAIカメラの社会実装実験と収集データの活用提案
③自転車駐車場AIカメラ社会実装実験
④講演：駐車場DX化について　株式会社シード



2026年度 第2回 管理運営委員会

◆日　時：2026年10月22日（木）15：30～17：00
◆場　所：サイカパーキング（株）7F会議室及びオンライン
◆内　容：1.前回委員会の振り返り
2.電動アシスト自転車バッテリーリコール対応
3.利用料金改定に関する情報共有
4.カスタマーハラスメント対策について
5.DX委員会との情報共有
6.今後の予定



【第2弾キャンペーン】サイクルラック技術基準審査
旧基準からの移行について

新基準「サイクルラック技術基準（2023年10月改訂）」審査について、旧基準からの移行「第2弾キャンペーン」を開始しました。
移行最終のキャンペーンとなりますので、この機会に申請をお願い致します。

第2弾キャンペーン！ 新サイクルラック技術基準へ移行

・審査費用：一律20万円
・申込期間：2026年11月～2028年3月末日まで
（申込順でご案内する関係で、認定まで時間を要する場合もございます）

【旧認定品の今後の取り扱い】
・2028年3月末をもって旧認定シール（グリーン）は発行終了します。
（旧認定シールの発行期限は、5年の猶予期間となっているため）

【申請資料】 https：//jichuko.net
自転車駐車場工業会　検索
（申請資料は、自転車駐車場工業会HP会員専用ページにございます）
○技術審査資料 よりダウンロードお願いします。
①サイクルラック技術審査要領書v26b
②サイクルラック技術審査申請様式ファイルの取扱方法（申請者編）Ver2
③サイクルラック技術審査様式シートv26a
④構造計算書フォームv2023-1

◆ 次回開催予定

◎2026年度第4回 理　事　会：2026年11月18日（水）16：00～
◎2026年度第4回 技術委員会：2026年11月18日（水）10：30～
◎2026年度第4回 広報委員会：2026年11月18日（水）14：30～
◎2026年度第3回 D X 委 員 会：2026年12月11日（金）15：30～
◎2026年度第2回JSCA/JIC合同研修会：2026年12月 2日（水）14：00～
◎2027年 賀詞交歓会（KKRホテル東京）：2027年 1月13日（水）12：00～

no.61

世界のインフラを進化させる

日本信号株式会社

ご挨拶

安心・安全なモビリティ社会を支える

日本信号は駐輪場・駐車場システムを通じて、快適で利便性の高いまちづくりを推進します。

駐輪場・駐車場は、単に自転車や車両を収容する場所ではなく、安全で円滑な交通環境を支え、商業施設や駅周辺、公共施設などの利便性向上に貢献する社会インフラです。

日本信号は、鉄道信号技術の国産化と発展を担う企業として1928年に創業しました。以来、新幹線をはじめとする高速鉄道や、高密度ダイヤで運行される都市鉄道の安全・安定輸送を支えてきました。鉄道分野で培った「安全」と「信頼」の技術・思想を駐輪場・駐車場システムにも展開し、利用者にとって快適で安心な利用環境の実現に取り組んでいます。

事業紹介

◆駐輪場システムのDX推進

大型ゲートシステムから個別サイクルロックシステムまで、多くの運営事業者様へ機器を提供してまいりました。今後は集計装置のクラウド化などをさらに推進し、運営事業者様の効率的かつサステナブルな施設運営を支援してまいります。





◆駐車場の高度化・DX推進

近年のキャッシュレス化や省人化ニーズの高まりを受け、日本信号ではDXによる各種駐車場ソリューションを展開しています。

主なサービス

① ナンバー認証チケットレスシステム

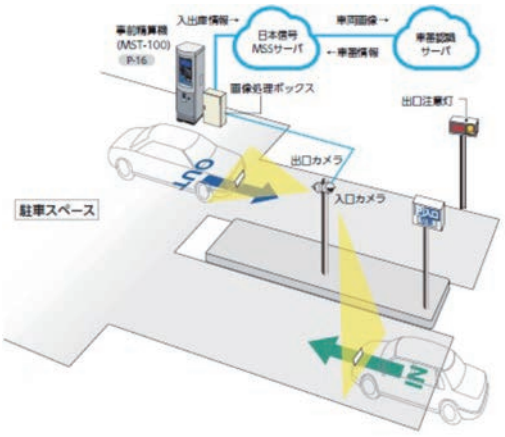
車両ナンバーを活用し、スムーズな入出庫管理を実現します。

② キャッシュレスシステム

マルチリーダーや精算機に貼り付けたQRコードを活用することで、多様な決済手段に対応し、利用者の利便性向上を実現します。

③ モビリティサービスシステム

設備の稼働状況や売上データの遠隔監視に加え、ソフトウェアの遠隔更新などを実現し、効率的な運営を支援します。



◆新分野への取り組み

日本信号は、駐輪場・駐車場分野にとどまらず、省人化に貢献するロボット技術や、交差点から交通管制センターを結ぶ通信インフラ（MVNO）事業など、新たな分野への社会実装を進めています。これからも社会課題の解決に貢献する製品・サービスの創出に取り組んでまいります。





DATA

日本信号株式会社
AFC事業部　AFC営業部
〒100-6513　東京都千代田区丸の内1-5-1（新丸の内ビルディング）
TEL03-3217-7373（代）　FAX03-3217-7377